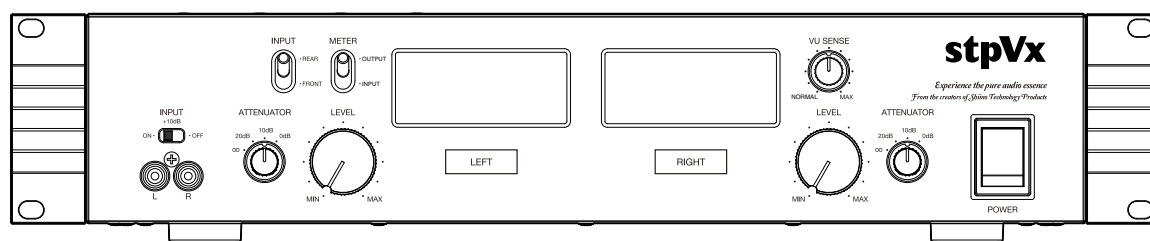


stpVx

Professional Amplifier

STARLING - 椋鳥 -

取扱説明書



ごあいさつ

この度は、STPVestax STARLING Professional Amplifier を お買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、また、安全にお使い頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。特に、「安全上のご注意」は、必ずお読みください。

目次






1. 安全上のご注意.....	2
2. 本機の特徴	5
3. 前面パネルの名称とはたらき.....	6
4. 後面パネルの名称とはたらき.....	7
5. 故障とお考えになる前に	9
6. 主な仕様	9
7. 保証とアフターサービスについて.....	10









1. 安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所にかならず保管してください。








— 絵表示について —

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	⊘	記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●	記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。
	△	記号は注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

 警告			
	<ul style="list-style-type: none">● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。		<ul style="list-style-type: none">● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
 <small>電源プラグをコンセントから抜く</small>	<ul style="list-style-type: none">● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。		<ul style="list-style-type: none">● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	 <small>電源プラグをコンセントから抜く</small>	<ul style="list-style-type: none">● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 <small>水場での使用禁止</small>	<ul style="list-style-type: none">● 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。		







警告

 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の開口部をふさがらないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があります。次のような使い方はしないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。 ・この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。 ・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の上でろうそくなどの炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れる時は、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。 	 <p style="text-align: center; font-size: small;">分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対はずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 ● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

注意

 <ul style="list-style-type: none"> ● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 ● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。 ● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● オーディオ機器、テレビ、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカーを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。 ● 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。
--	--

⚠ 注意

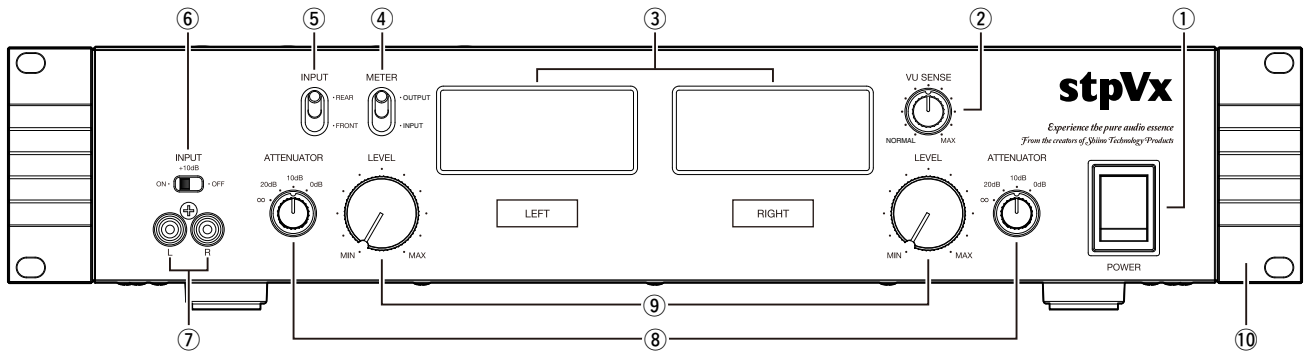
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。 ● 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードを使用しないでください。 	 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、かならず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店にご相談ください。（ミュージックバーなどの公共な場で使用の場合は1年に1度くらい）機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の上に物を置かないでください。この機器の上には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 ● この機器の上にテレビやオーディオ機器などをのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。 ● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 	 <p>高温注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用中および使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどの恐れがあり、危険です。特に上面など高温部には触れないでください。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

2. 本機の特徴

楽器（原音）がわかる音楽好きの為のデジタルHi-Fiパワーアンプ

- Hi-Fiオーディオとブローオーディオのそれぞれの拘りのテクノロジーと考え方を高次元で融合した、スーパーホームリスニング/スモールインсталレーション向けのデジタルパワーアンプです。
- 音量コントロール・アッテネーター・サーキットなどのLRのチャンネル分離化を徹底することで、優れたチャンネルセパレーション能力を実現し、音楽の中の各音の定位が明確化することで同周波数帯マスキングを避け、楽器・声などの音像が立ちます。
- スーパーハイスピードシグナルに追従できる、特大Rコアトランスによる電源供給は、デジタルアンプとは思えないほどのナチュラルでパワフルなドライブを実現します。
- サウンドクオリティーの追求に欠かせないインプットレベル設定を、信頼性の高い業務用VUメーターによりチェックすることができ、そして、各チャンネルに独立したアッテネーターを搭載。0dB、10dB、20dB、∞ を、ロータリーセレクターでベストなレベルマッチングを行えます。
- VUメーターは、切り替えにより、インプット・アウトプットの両方のレベルを表示できます。インプット時はRED LED、アウトプット時はBLUE LEDが点灯するので、現在表示しているレベルがどちらかをすぐに認識できます。
- 入力された信号をダイレクトにライン出力する SEND OUTを装備し、複数台のアンプ/スピーカーを同時使用する際や、パワードウーファーを追加したいなどの、様々なインсталレーションシステムの構築を想定しています。
- SEND OUT は、内蔵のローパスフィルター回路をオンすることで、パッシブウーファーをドライブする別パワーアンプへの信号の出力とすることも可能です。フィルターの周波数ポイントは、80Hz～350Hz (-12dB/oct) での調整をロータリーボリュームで設定でき、更に、フェイズ (0度/180度) 切替スイッチも搭載することで、フルレンジとウーファーの干渉による低音の奥詰まり時の解消もできます。
- 入力は、RCAピン、Φ6.3標準フォン、XLR (バランス/2HOT) の3種のジャックを装備し、現場にあった選択が可能です。
- スピーカー端子は、接続作業がし易く、かつ、線材のひげによるショート事故が発生しにくい大きいサイズのコネクター端子部品を採用。また、プロオーディオで定番のスピコンNL4端子も装備しています。
- EIA19" 2Uサイズで、ラックマウントできます。
- 最大定格出力：100W+100W / 8ohm (150W+150W / 4ohm)
- 日本製

3. 前面パネルの名称とはたらき



① POWER(電源スイッチ)

電源をオン・オフします。電源がオンしている時は、VUメーターの照明が点灯します。

② VU SENSE (メーター感度調整)

VUメーターが出力レベル表示の際、メーター感度の調整をおこなう事ができます。その時、指針が振り切らないように調整してください。入力レベル表示の際は機能しません。

③ VUメーター

入力レベル、あるいは出力レベルを左右独立で表示します。(0 VU=+4 dBm ※)

入力レベル表示の際は照明がREDに、出力レベル表示の際はBLUEに点灯します。入力レベルは0 VU以下で推移するようにアッテネーターを切り替えて使用してください。内部回路での歪の発生を防ぐことができます。

※ 本製品では、600Ω負荷における1mW電力を0 dBm(=0 dBV≐0.775 Vrms)としてレベル(電圧)を扱っています。

メーターの指示値は、入力レベル表示の際、本製品の入力端子に600Ωの出力抵抗を持つ機器から1.228 Vrms(1kHz)の信号が供給されたときに0 VUを示すように規定しています。

出力レベル表示では、この規定の範囲ではありません。

④ METER (メーター切替)

VUメーターのOUTPUT (出力レベル表示)、あるいはINPUT (入力レベル表示) を切り替えます。

⑤ INPUT (入力切替)

REAR (後面)、あるいはFRONT (前面) の入力を切り替えます。

⑥ INPUT (前面入力端子ゲイン切替)

FRONT (前面) 入力端子を使用の際、信号のレベルが小さな機器を使用する場合に、+10 dB ONを選択します。アッテネーターを0 dB(減衰なし)に切り替えてもVUメーターの入力レベルの振れが小さいときに使用してください。

⑦ 前面入力端子

RCAピンケーブルによるアンバランス(不平衡)音声信号を入力する端子です。

⑧ ATTENUATOR (アッテネーター)

出力信号のレベルが高い機器を使用する場合、入力レベル表示が0 VU以下で推移するように10 dB(減衰)、あるいは20 dB(減衰)に切り替えます。∞(無限大)とすることで出力を遮断することができます。左右独立での操作となります。

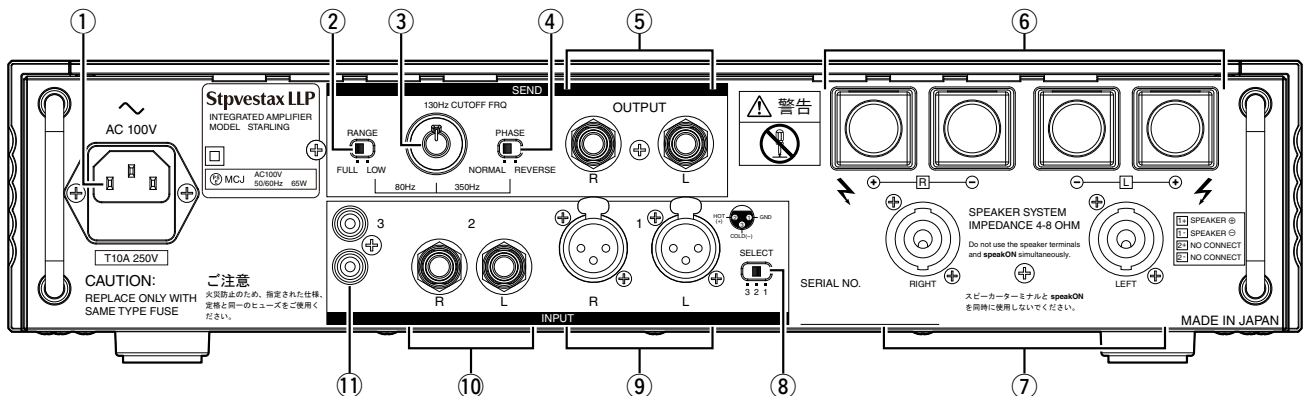
⑨ LEVEL (レベル)

音量を調整します。左右独立での操作となります。

⑩ ラックマウント金具

ラックマウントする際に使用します。ラックマウントする際は脚を外してください。

4. 後面パネルの名称とはたらき



① ACインレット

付属の電源ケーブルを取り付けて、AC100Vのコンセントに接続します。

- ※ 日本国内仕様の場合、アース端子と内部のグラウンドは接続されていません。

入力端子、出力端子、あるいはスピーカー用の端子にケーブルを接続する場合は、必ず、本製品の電源を切ってください。

② RANGE (出力周波数レンジ切替)

SEND端子から出力する信号の周波数レンジを切替えます。FULLでは、入力と同じ成分（フルレンジ）の信号を出力します。LOWでは、入力をハイカットした低域成分（ローレンジ）の信号を出力します。

③ fc cont (カットオフ周波数調整)

ローレンジ出力の選択時、ローパスフィルターのカットオフ周波数を調整します。80~350 Hzの間で調整が可能です。ローパスフィルターは、-12dB/octの特性になっています。フルレンジ出力の際には機能しません。

④ PHASE (出力位相切替)

ローレンジ出力の選択時、出力信号の位相を切替えることができます。NORMALでは、入力信号と同位相の信号を出力します。REVERSEでは、入力信号とは反転した信号を出力します。フルレンジ出力の際には機能しません。

⑤ SEND

(Φ6.3標準モノラルフォン) 出力端子

音声信号をラインレベルで出力する端子です。フルレンジ出力の選択時には、入力切替で選択されている信号をそのまま出力します。ローレンジ出力の選択時には、入力切替で選択されている信号をハイカットフィルターで低域成分だけを抜き出して出力します。

- ※ 出力音量は、アッテネーター切り替え設定やLEVELボリューム位置に影響されません。

⑥ TERMINAL (スピーカーターミナル)

スピーカーシステムを接続する端子です。4Ω以上のスピーカーが接続できます。

- ※ スピーカー以外の機器を接続しないでください。故障の原因になる場合があります。
- ※ スピーカーケーブルと入力ケーブルはできるだけ離れた状態で設置してください。
- ※ スピコン端子とは、同時使用しないでください。
- ※ ハイインピーダンスタイプ (設定) のスピーカーは接続しないでください。

⑦ SpeakON (スピコン端子)

スピーカーシステムを接続する端子です。4Ω以上のスピーカーが接続できます。

- ※ スピーカー以外の機器を接続しないでください。故障の原因になる場合があります。
- ※ スピーカーケーブルと入力ケーブルはできるだけ離れた状態で設置してください。
- ※ **スピーカーターミナルとは、同時使用しないでください。**
- ※ 4極のソケットNL4が使用可能です。
1-と1+にケーブルを接続してください。
2-と2+にはケーブルを接続しないでください。
- ※ ケーブルコネクターの接続方法をよくご確認の上使用してください。

⑧ INPUT (入力切替)

XLR (バランス) - Φ6.3標準フォン (アンバランス) - RCAピン の入力を切り替えて選択します。

- ※ 同時入力はできません

⑨ XLR (バランス) 入力端子

XLRコネクタケーブルによる平衡 (バランス) 音声信号を入力する端子です。

1番:GND 2番:HOT 3番:COLD

⑩ Φ6.3標準フォン (アンバランス) 入力端子

音声信号を入力する端子です。奥までしっかり差し込むよう、接続に注意してください。

⑪ RCAピン入力端子

RCAピンケーブルによる音声信号を入力する端子です。

5. 故障とお考えになる前に

*音が出ない

- ・電源は入っていますか？
- ・アッテネーターは正しく選択されていますか？
- ・REAR/FRONTの入力は正しく選択されていますか？
- ・後面パネルのINPUTは正しく選択されていますか？
- ・外部機器は正しく接続されていますか？
- ・外部機器の電源は入っていますか？
- ・外部機器の操作/設定は適切ですか？
- ・スピーカーシステムは正しく接続されていますか？

*スピーカーからの音声が切れた

- ・スピーカーシステムが正しく接続されていますか？
スピーカーターミナルとスピコン端子は同時に使用できません。
- ・4Ω未満のスピーカーを使用していませんか？
本製品では、4Ω以上のスピーカーが必要です。
- ・スピーカーシステムを並列に接続していませんか？
並列接続には対応していません。
- ・周囲が過度の高温になっていませんか？
周囲温度は45℃以下としてください。
大音量を必要とする場合は、さらに周囲温度を下げる必要があります。
ラックマウント時には、天面・底面・側面に十分な隙間をあけて設置してください。

6. 主な仕様

入力部 (入力レベル 8Ω負荷50W出力時/インピーダンス)

後面パネル

- XLR端子×2 (バランス) 0dBv/22kΩ
- Φ6.3標準フォンモノラル端子×2 (アンバランス)
..... 0dBv/22kΩ
- RCAピン端子 (アンバランス) 0dBv/22kΩ

前面パネル

- RCAピン端子 (アンバランス) 0dBv/22kΩ

出力部 (出力レベル/インピーダンス)

SEND出力

- (Φ6.3標準フォンモノラル端子×2 : アンバランス)
..... -0.6dBv/10kΩ
(最大定格出力/インピーダンス)

- スピーカー出力 100W×2/8Ω
150W×2/4Ω

周波数特性 (8Ω/1W出力時)

..... 20~20kHz/-0dB +1.2dB

全高周波歪 (1kHz/8Ω/50W出力時)

..... 0.02%以下

電圧電源	AC100v 50/60Hz
消費電力	最大65W
外形寸法	420mm (w) x 98mm (h) x 337mm (d) (ラックマウント金具および最大突起部含まず)483mm (w) x 98mm (h) x 337mm (d) (ラックマウント金具含む 最大突起部含まず)
重量.....	約11.5kg (ラックマウント金具含まず)
付属品.....	電源コード

(注) 仕様及び外観は、改良改善のため予告なく変更することがあります。

7. 保証とアフターサービスについて

(1) 保証書

プリントの保証書はございません。販売店から、または、ユーザーから、製造元の「STPVESTAX LLP」(stpvestax.com) への連絡によって、お買い上げ日とオーナー情報、及び、本機シリアルナンバーが、「STPVESTAX LLP」に登録され、管理されます。(個人情報として大切に扱われます)
オーナーが変更する場合は、旧オーナーと新オーナー両者からの申告により保証期間が継続されます。

保証期間は、お買い上げの日から1年です。

※最初のオーナーのお買い上げ日からです。

※保証期間であっても、修理のための運賃はオーナー様負担となります。

(2) 修理に関するご相談

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店、または、「STPVESTAX LLP」(stpvestax.com) へお問い合わせください。

(3) 修理を依頼される時

故障した時は、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。

(保証期間中であっても、故障内容によって有償となる場合がございます)

保証期間中は、保証規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。見積りが必要な場合は、あらかじめお伝え下さい。ただし、見積りを算出する場合は、見積手数料が発生しますが、その後の判断で修理をGOする場合、その修理代に含まれます。

何らかの理由で、ご購入された販売店が無くなった場合は、「STPVESTAX LLP」(stpvestax.com) にご相談ください。

(4) 修理対象外製品について

本機ケースを開けて、改造した場合や、故障させた場合、状態によっては、修理を受けない場合や、修理が出来ない場合があります。また、ドリンクなどの液体をこぼした場合は、一旦は使えるようになっても、その後、液体による劣化が進み、再び故障する場合がありますので、修理できても修理後の故障再発保証はできません。

(5) 修理期間中の代替え品について

修理期間中の、代替え品の用意は、いかなる場合も、一切行っておりません。

業務用として使用する場合は、必要に応じて、予備機のご購入をお願い致します。

ご不明な点や、他情報を知りたい時は、まず、オフィシャルホームページをご覧ください。

www.stpvestax.com